

実証プロジェクトの参加者たちとともに スマート農業に取り組む産地をサポートします！

○ 公募期間

- ・ 6月28日～7月27日12時まで
(詳しい応募方法等は公募要領を御確認ください)

○ 取組内容

『スマート農業技術の導入を検討しているが、どのような技術の組み合わせが経営改善につながるのか分からない』

『既にスマート農業技術を導入しているが、面積拡大や収量増加につなげていない』

そんな悩み・課題を抱えている産地等が、スマート農業技術を活用し、成果を上げている「スマート農業実証プロジェクト」の参加者たちの指導を受けて、その悩み・課題を解決する取組をサポートします！

《サポートイメージ》



水稻、麦を栽培しています。家族経営のため人員が限られているのですが、どのようなスマート農業技術を導入すれば経営改善することができるのでしょうか？



産地で施設園芸を営んでいます。新規就農者も含めた産地の底上げに向け、統合環境制御装置などを導入したのですが、どのように活用すればいいのでしょうか？

実証に参加した研究者、民間企業、生産者等がサポート



経営状況、作付形態に合わせ、どのような技術を導入するべきかや、具体的にどのように運用していくか、といった導入計画作成をサポートします！



データ収集や産地内でのデータ共有の仕方など、導入したスマート農業技術の運用方法についてサポートします！

皆様の取組をスマート農業技術導入を考えている産地の方に役立つ「手引書」の作成をお願いします。

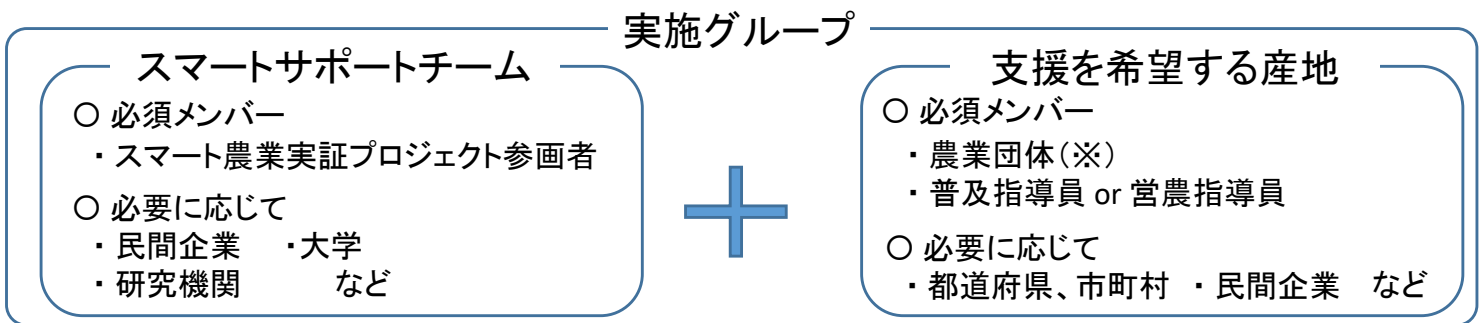
支援の活用にあたっては、事務局 (TEL:03-3502-7438) まで
ご相談ください。

農林水産省

具体的な支援内容

(1) 取組体制

スマートサポートチームと支援を希望する産地が一体となった実施グループ



(※)JA(生産部会)、集落営農等

(2) 取組内容

- ・ 支援する営農体系（品目）に応じて、（3）に記載している内容について、スマート農業実証プロジェクト参画者を含むスマートサポートチームが実地指導を行う取組
- ・ 上記の指導の経過を調査・分析し、その実績を踏まえ、データに基づくスマート農業技術の利活用や経営改善の進め方を明らかにする手引書の作成

(3) 支援の項目

※少なくとも1項目以上を必ず設定すること。

- ① 技術導入を検討する生産者等に対しての現状分析に基づく導入効果の試算及びアドバイス
- ② 導入した(又はする)スマート農業技術の有効・効率的な活用
- ③ 圃場毎の投下労働時間や資材投入量、生育・収量等の各種経営データに基づく経営改善

(4) 予算の上限

上限額500万円（消費税及び地方消費税込み）

(5) 対象経費

（2）に必要な経費（人件費、データ収集・整理等に必要な機器の借料・ソフトウェアの利用料、会議開催費等）

(6) 事業期間

契約締結日から、最長令和6年2月29日までの期間。

【問い合わせ先】

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課

☎ 03-3502-7438

公募情報はこちら→

